親子で田植え：

公園の一角に小さな田んぼをつくり　市民の手で田植えから刈り取りまで

2019年6月（茨城県古河市・古河公方公園）

◆御所沼の前で初夏の風物詩

　かつて古河公方の館の周囲に広がっていた御所沼は、食料増産のため水田化された時期もありました。公園の計画にあたり、当時に思いを込めて「ホッツケ田」という小さな田んぼがつくられました。

◆どろんこクラブの田んぼづくり

　2000年に活動が始まったどろんこクラブ。一年を通じて「ホッツケ田」とお付き合いが続きます。田植え、案山子づくり、稲刈り、脱穀、ごはん試食など、米づくりのことを親子で学んでいます。

岡村幸二（JRRN会員）